

## 「白雪姫」題材に模擬裁判体験

日進 愛知学院大で「おやこロースクール」



自分たちが考えた判決を発表する子ども裁判員。日進市の愛知学院大で

模擬裁判を体験しながら法律を通じた物事の考え方を学ぶ「にっしん おやこ

でロースクール」が七日、日進市の愛知学院大であり小学生の親子十三組が参加

した。

今回は童話「白雪姫」が題材。姫の美しさに嫉妬する王妃に「姫に毒リンゴを食べさせ殺そうとした」という疑惑がかけられている設定で、大人、子ども同士で三―六人のグループをつくり有罪か無罪かの議論を深めた。狩人の証言や意識が遠のきつつあった白雪姫の記憶の確かさ、指紋の有無などが焦点になり「疑わしい場合は無罪」という助言も参考に、それぞれの最終判決を法廷で発表した。

同市梨の木小五年の谷中 洸太君（〇）は「誰かの罰を決めることへの責任を感じた」と話した。

同大が毎年開いており六回目。判決を導く過程で自分と異なる意見にも耳を傾けながら事実を精査する力を身につけてもらう狙いがある。

（西川侑里）